

田んぼにすむ貝と環境調べ

益城町立飯野小学校 5年 飯野小5年生

1 研究の目的

5年生では、稲作活動や田んぼの生き物調査をしている。田植えの時、ジャンボタニシを駆除した経験から、学校田にはジャンボタニシが多いと感じた。また、砥川にはメダカがいる田んぼがある。そこで、2つの田んぼでちがいがあるか、貝を中心に調査してみた。

2 研究の方法

- (1) 貝の数調べ・・・「学校田」「砥川の田んぼ」で、貝の種類ごとの数と割合を調べる。
- (2) 貝以外の生き物調査・・・それぞれの田んぼで、どんな生き物がいたか調べる。
- (3) 水質調査・・・パックテストをして用水の水質調査をする。

3 研究の結果

(1) 貝の数調べ

① 田んぼで見られる貝

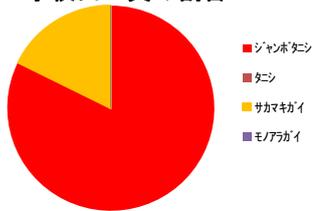
- ア ジャンボタニシ・・・外来種。からが丸い。触覚が長く、4本ある。ピンク色の卵を産む。
- イ タニシ・・・近年、数が減っている。準絶滅危惧種。からは三角形に近い。触覚は短めで太い。
- ウ サカキガイ・・・外来種。汚れた環境に強い。からが左巻き。触覚は細い。
- エ モノアラガイ・・・環境汚染によって激減している。準絶滅危惧種。からが薄い。触覚は三角形。

② 貝の数調べと割合

A 学校田

貝の種類	貝の数
ジャンボタニシ	340
タニシ	0
サカキガイ	73
モノアラガイ	0

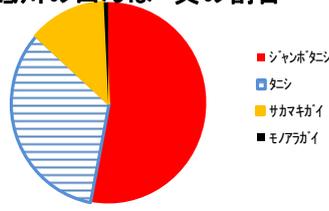
A 学校田 貝の割合



B 砥川の田んぼ

貝の種類	貝の数
ジャンボタニシ	139
タニシ	88
サカキガイ	33
モノアラガイ	2

B 砥川の田んぼ 貝の割合



(2) 貝以外の生き物

A 学校田

トンボ・ヒル・カエル・オタマジャクシ
トミミズ・ゲンゴロウ
コロギ

B 砥川の田んぼ

ヤコ・トンボ・メダカ
ヒル・カエル・オタマジャクシ
トミミズ・ゲンゴロウ
コロギ・バッタ

(気付いたこと)

- ・どちらもカエルが多い。
- ・ミミズが土の中にいた。
- ・ゲンゴロウも多かった。
- ・ちがいは、砥川の田んぼにだけメダカがいたこと。

(3) 水質調査 (パックテスト)

A 学校田

	ph	亜硝酸	COD	アンモニウム	リン酸
数値	7.0	0.1	10	0.5	0.5
結果	中性	ふつう	汚れている	きれい	ふつう

B 砥川の田んぼ

	ph	亜硝酸	COD	アンモニウム	リン酸
数値	7.5	0.02	6	0	0.2
結果	中性	きれい	ふつう	きれい	ふつう

4 研究のまとめ

- (1) 学校田と砥川の田んぼでは、貝の種類や割合がちがっていた。
- (2) タニシが多い砥川の田んぼには絶滅危惧種に指定されているメダカもすんでいた。水質検査では、学校田の方が少し汚れていた。学校田は藻川の水を汲み上げ、砥川の田んぼはそうめん滝の水を利用している。用水のちがいで生き物や水質にちがいがあることがわかった。
- (3) どんな貝が多くいるかを調べれば、田んぼの環境のちがいがよくわかると思った。